

第1章 調査の概要

1. 調査目的

吹田市民の市政やまちづくりに関する意見や要望等を把握し、今後の施策や事業を検討するとともに、市政運営の基礎資料とする。

今回は、平成18年度（2006年度）にスタートした吹田市第3次総合計画の進行管理や、中間年度である平成25年度（2013年度）までの同計画の基本計画見直しに向けた諸課題の分析に活用する基礎資料を得ることも目的とする。

2. 調査項目

- ・回答者の居住地域について
- ・余暇活動などについて
- ・市政情報やインターネットを活用した情報提供について
- ・医療について
- ・吹田市のさまざまな取り組みや市政運営について
- ・吹田市の窓口業務について
- ・回答者や回答者の家族について

3. 調査対象

- (1) 調査地域 吹田市全域
- (2) 母集団 2010年7月1日現在18歳以上85歳未満の吹田市在住者
(内訳：日本人280,104名、外国人3,835名)
- (3) 標本数 2,000名
- (4) 抽出方法 層化系統無作為抽出法

4. 調査時期

2010年8月9日(月)～9月10日(金)

5. 調査方法

郵送調査法(予告1回、督促1回)

6 . 回収結果

	件数	比率	備考
A 抽出標本数 (事前予告状発送数)	2,000		
B 調査不能 【事前拒否】 (非補充)	11	0.6%	
C 調査不能 【尋ね当らず等】 (補充)	13		
D 調査不能 【予備標本充当】	13		
E 調査票発送数	1,989	99.5%	E=A -B -C+D
F 調査不能 【尋ね当らず等】 (補充)	4		
G 調査不能 【予備標本充当】	4		
H 調査票到達数 (調査対象者数)	1,989	99.5%	I=E -F+G
I 調査不能 【長期不在・転出】 (非補充)	10		
J 調査不能 【事後拒否：理由不明】 (非補充)	1		
K 調査不能 【事後拒否：病気・高齢等】 (非補充)	15		
L 予備標本非補充の調査不能総計	37	1.85%	注1 L=B+I+J+K
M 回収票数	1,353	68.0%	注2
N 未回収票	636	32.0%	N=H -M
O 無効票 (すべての質問が無記入)	0	0.0%	注3
P 有効回収票	1,353	68.0%	注4 P=M -O

注1：調査不能率 = $L \div A \times 100$

注2：回収率 = $M \div H \times 100$

注3：無効票率 = $O \div H \times 100$

注4：有効回収率 = $P \div H \times 100$

7 . 信頼区間

本調査は、標本調査（無作為抽出）であり、調査結果の誤差は下記の式により計算できる。

信頼度 95% の場合

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{p(100 - p)}{n}} \dots\dots$$

n = 有効回答者数、p = 回答の比率

式によって計算された回答者全体の標本誤差は、次ページのとおりである。

信頼度 95%における主要な%の信頼区間

標本数		標本比率	1%/99%	5%/95%	10%/90%	15%/85%	20%/80%	25%/75%	30%/70%	35%/65%	40%/60%	45%/55%	50%
全体		1,353	0.5	1.2	1.6	1.9	2.2	2.4	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7
性別	女性	738	0.7	1.6	2.2	2.6	2.9	3.2	3.4	3.5	3.6	3.7	3.7
	男性	601	0.8	1.8	2.4	2.9	3.3	3.5	3.7	3.9	4.0	4.1	4.1
年齢別	30歳未満	150	1.6	3.6	4.9	5.8	6.5	7.1	7.5	7.8	8.0	8.1	8.2
	30歳代	242	1.3	2.8	3.9	4.6	5.1	5.6	5.9	6.1	6.3	6.4	6.4
	40歳代	239	1.3	2.8	3.9	4.6	5.2	5.6	5.9	6.2	6.3	6.4	6.5
	50歳代	206	1.4	3.0	4.2	5.0	5.6	6.0	6.4	6.6	6.8	6.9	7.0
	60歳代	262	1.2	2.7	3.7	4.4	4.9	5.4	5.7	5.9	6.1	6.1	6.2
	70歳以上	235	1.3	2.8	3.9	4.7	5.2	5.6	6.0	6.2	6.4	6.5	6.5
居住年数別	1年未満	35	3.4	7.4	10.1	12.1	13.5	14.6	15.5	16.1	16.6	16.8	16.9
	1～5年未満	141	1.7	3.7	5.1	6.0	6.7	7.3	7.7	8.0	8.3	8.4	8.4
	5～10年未満	130	1.7	3.8	5.3	6.3	7.0	7.6	8.0	8.4	8.6	8.7	8.8
	10～20年未満	242	1.3	2.8	3.9	4.6	5.1	5.6	5.9	6.1	6.3	6.4	6.4
	20～30年未満	253	1.3	2.7	3.8	4.5	5.0	5.4	5.8	6.0	6.2	6.3	6.3
	30～40年未満	251	1.3	2.8	3.8	4.5	5.0	5.5	5.8	6.0	6.2	6.3	6.3
	40～50年未満	200	1.4	3.1	4.2	5.0	5.7	6.1	6.5	6.7	6.9	7.0	7.1
	50年以上	95	2.0	4.5	6.2	7.3	8.2	8.9	9.4	9.8	10.1	10.2	10.3
居住地域別	JR以南	139	1.7	3.7	5.1	6.1	6.8	7.3	7.8	8.1	8.3	8.4	8.5
	片山・岸部	212	1.4	3.0	4.1	4.9	5.5	5.9	6.3	6.6	6.7	6.8	6.9
	豊津・江坂・南吹田	199	1.4	3.1	4.3	5.1	5.7	6.1	6.5	6.8	6.9	7.1	7.1
	千里山・佐井寺	233	1.3	2.9	3.9	4.7	5.2	5.7	6.0	6.2	6.4	6.5	6.6
	山田・千里丘	307	1.1	2.5	3.4	4.1	4.6	4.9	5.2	5.4	5.6	5.7	5.7
	千里ニュータウン・万博・阪大	246	1.3	2.8	3.8	4.6	5.1	5.5	5.8	6.1	6.2	6.3	6.4
職業別	常時雇用者	387	1.0	2.2	3.0	3.6	4.1	4.4	4.7	4.8	5.0	5.1	5.1
	臨時雇用者	213	1.4	3.0	4.1	4.9	5.5	5.9	6.3	6.5	6.7	6.8	6.9
	派遣社員	17	4.8	10.6	14.6	17.3	19.4	21.0	22.2	23.1	23.8	24.1	24.3
	内職	1	19.9	43.6	60.0	71.4	80.0	86.6	91.7	95.4	98.0	99.5	100.0
	自営業主、自由業者	80	2.2	4.9	6.7	8.0	8.9	9.7	10.2	10.7	11.0	11.1	11.2
	家族従業者	12	5.7	12.6	17.3	20.6	23.1	25.0	26.5	27.5	28.3	28.7	28.9
	経営者、重役、役員	46	2.9	6.4	8.8	10.5	11.8	12.8	13.5	14.1	14.4	14.7	14.7
	学生	53	2.7	6.0	8.2	9.8	11.0	11.9	12.6	13.1	13.5	13.7	13.7
	専業主婦・主夫	272	1.2	2.6	3.6	4.3	4.9	5.3	5.6	5.8	5.9	6.0	6.1
	無職	247	1.3	2.8	3.8	4.5	5.1	5.5	5.8	6.1	6.2	6.3	6.4
住居形態別	持家	866	0.7	1.5	2.0	2.4	2.7	2.9	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4
	借家	442	0.9	2.1	2.9	3.4	3.8	4.1	4.4	4.5	4.7	4.7	4.8
	一戸建て	485	0.9	2.0	2.7	3.2	3.6	3.9	4.2	4.3	4.4	4.5	4.5
	集合住宅	787	0.7	1.6	2.1	2.5	2.9	3.1	3.3	3.4	3.5	3.5	3.6
	社宅・寮 その他	36 14	3.3 5.3	7.3 11.6	10.0 16.0	11.9 19.1	13.3 21.4	14.4 23.1	15.3 24.5	15.9 25.5	16.3 26.2	16.6 26.6	16.7 26.7

8. 報告書の見方

- (1) 比率は全て、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問で設問該当対象者）に対する百分比（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は、100.0%を超える。
- (2) 百分比（%）は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。四捨五入の結果、各回答の百分比（%）の合計は100.0%に一致しない場合がある。
- (3) 図表中の「N」とは集計対象者総数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、比率は「N」を100.0%として算出した。
- (4) 図中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した設問である。
 - ・ M A % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- (5) 問6（地域の環境についての満足度・重要度）や問31（市政に対する満足度・重要度）などの評価項目では、市民の施策や事業に対する評価を要約的に示すために、「満足・重要」に100点、「どちらかといえば満足・重要」に75点、「普通・今の程度で良い」に50点「どちらかといえば不満・重要ではない」に25点、「不満・重要ではない」に0点を与え、「無回答」を除いて平均評価点を算出している。評価点が高いほど「満足・重要である」を、低いほど「不満・重要ではない」を表している。